

平成29年 6 月22日

各 位

会 社 名 東テク株式会社
代表者名 代表取締役社長 長尾 克己
(コード：9960、東証第二部)
問合せ先 取締役常務執行役員
経営管理本部長 中溝 敏郎
(TEL 03-6632-7000)

(訂正)「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成29年 5 月15日に公表いたしました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき箇所がありましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、公表後に訂正すべき箇所があることが判明したため記載内容の一部訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所は____を付して表示しております。

12ページ 3. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

(訂正前)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に市場、製品及びサービスの性質を総合的に勘案して事業セグメントを決定しております。従来、当社は「商品販売事業」「工事業」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より太陽光発電による電力会社への売電を開始したため、新たに「太陽光発電事業」を加えた3区分を報告セグメントと致しました。なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主な製品及びサービスは以下のとおりであります。

(1) 商品販売事業 : 空調機器、省エネ機器、制御機器、アフターサービス

(2) 工事業 : 計装工事、電気工事、管工事、機械器具設置工事

(3) 太陽光発電事業 : 太陽光発電による電力会社への売電

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

	報告セグメント			その他の事業 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注) 3
	商品販売事業 (百万円)	工事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	54,172	23,118	77,290	69	77,360	-	77,360
セグメント間の 内部売上高又は振替高	417	323	741	-	741	△741	-
計	54,590	23,441	78,032	69	78,101	△741	77,360
セグメント利益	9,519	5,810	15,329	45	15,374	1	15,376
セグメント資産	38,506	14,648	53,155	77	53,233	3,698	56,931
その他の項目							
減価償却費	-	2	2	-	2	-	2
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	360	150	511	-	511	65	577

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食サービスを行っております。

2. (1) セグメント利益の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

(2) セグメント資産の調整額3,698百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産3,841百万円および報告セグメント間の債権債務消去等143百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない賃貸用不動産、余資運用資金および長期投資資金であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注) 3
	商品販売事業 (百万円)	工事業 (百万円)	太陽光発電事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	60,084	25,930	31	86,046	-	86,046
セグメント間の 内部売上高又は振替高	817	1,001	-	1,818	△1,818	-
計	60,901	26,931	31	87,865	△1,818	86,046
セグメント利益	11,397	7,153	7	18,558	△60	18,497
セグメント資産	46,127	17,122	4,938	68,189	703	68,893
その他の項目						
減価償却費	-	1	22	24	-	24
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,248	1,538	3,587	7,375	△626	6,748

(注) 1. 前連結会計年度において、「その他の事業」に含んでおりました飲食サービス事業から撤退しております。

2. (1) セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去額であります。

(2) セグメント資産の調整額703百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,734百万円および報告セグメント間の債権債務消去等1,030百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金および長期投資資金であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(訂正後)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に市場、製品及びサービスの性質を総合的に勘案して事業セグメントを決定しており、「商品販売事業」「工事業」「太陽光発電事業」の3つを報告セグメントとしております。なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主な製品及びサービスは以下のとおりであります。

- (1) 商品販売事業：空調機器、省エネ機器、制御機器、アフターサービス
- (2) 工事業：計装工事、電気工事、管工事、機械器具設置工事
- (3) 太陽光発電事業：太陽光発電による電力会社への売電

当連結会計年度より、太陽光発電事業を行うケーピーエネルギー合同会社が連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「商品販売事業」「工事業」に新たに「太陽光発電事業」を加えた3つを報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成することが実務上困難であります。このため、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報」の前連結会計年度には変更前の区分方法により作成したセグメント情報を記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

「会計方針の変更」に記載の通り、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却方法を同様に変更しております。なお、この変更がセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

	報告セグメント			その他の事業 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注) 3
	商品販売事業 (百万円)	工事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	54,172	23,118	77,290	69	77,360	-	77,360
セグメント間の 内部売上高又は振替高	417	323	741	-	741	△741	-
計	54,590	23,441	78,032	69	78,101	△741	77,360
セグメント利益	9,519	5,810	15,329	45	15,374	1	15,376
セグメント資産	38,506	14,648	53,155	77	53,233	3,698	56,931
その他の項目							
減価償却費	-	2	2	-	2	-	2
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	360	150	511	-	511	65	577

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食サービスを行っております。

2. (1) セグメント利益の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

(2) セグメント資産の調整額3,698百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産3,841百万円および報告セグメント間の債権債務消去等143百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない賃貸用不動産、余資運用資金および長期投資資金であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注)3
	商品販売事業 (百万円)	工事業 (百万円)	太陽光発電事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	60,084	25,930	31	86,046	-	86,046
セグメント間の 内部売上高又は振替高	817	800	-	1,618	△1,618	-
計	60,901	26,731	31	87,664	△1,618	86,046
セグメント利益	11,397	7,164	6	18,568	△70	18,497
セグメント資産	46,305	17,199	4,952	68,457	435	68,893
その他の項目						
減価償却費	-	1	24	25	△1	24
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,310	1,550	3,374	7,235	△638	6,597

- (注) 1. 前連結会計年度において、「その他の事業」に含んでおりました飲食サービス事業から撤退しております。
 2. (1) セグメント利益の調整額△70百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 (2) セグメント資産の調整額435百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,483百万円および報告セグメント間の債権債務消去等1,048百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金および長期投資資金であります。
 3. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。
 4. 当連結会計年度のセグメント情報を変更前の区分方法により作成した情報は次の通りであります。

当連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	報告セグメント		合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)1	連結財務諸表 計上額 (百万円) (注)2
	商品販売事業 (百万円)	工事業 (百万円)			
売上高					
外部顧客への売上高	60,084	25,962	86,046	-	86,046
セグメント間の 内部売上高又は振替高	817	165	983	△983	-
計	60,901	26,128	87,029	△983	86,046
セグメント利益	11,397	7,098	18,495	1	18,497
セグメント資産	46,305	21,190	67,496	1,396	68,893
その他の項目					
減価償却費	-	24	24	-	24
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,310	3,969	6,280	316	6,597

- (注) 1. (1) セグメント利益の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 (2) セグメント資産の調整額1,396百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,483百万円及び報告セグメント間の債権債務消去等87百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び長期投資資金であります。
 2. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

以 上